

チャペルの窓 「よかった探し」 藤井 貴

愛少女ポリアンナ物語をご存知でしょうか？ 16日の日曜に長男が帰阪したとき、ポリアンナ物語を思い出しました。

『愛少女ポリアンナ物語』は、1986年1月5日から12月28日まで、フジテレビ系列で毎週日曜19:30 - 20:00に全51話が放送された、日本アニメーション制作のテレビアニメです。

原作はエレナ・ホグマン・ポーターの『少女パレアナ（少女ポリアンナ）』および『パレアナの青春（ポリアンナの青春）』。父を亡くして孤児となったパレアナ（ポリアンナ）が、貧しさや不幸に負けずにがんばっていくという物語で、どれだけ苦しい状況でも、牧師であった父親の遺言の「よかった探し」をするポリアンナが印象的でした。

ポリアンナはどれだけ苦しい状況でも父親の遺言である、「どんな苦しいときでも、明るい部分を見つけて明るく生きなさい、よかった探しをなさい」を守りました。そして明るく前向きに生きる姿は周りの人の心を打ち、周りも「よかった探し」をすることで町全体が明るくなったのです。

このアニメは長男が4歳になった年。我が家でも毎晩寝る前に子どもと一緒に、聖書を読み、みんなでお祈りをしていたが、この放送後、良かったこと（神様に感謝すること）を探しして分かち合うことを加えました。反省すること(悔い改めること)も大事ですが、感謝することを子どもたちに感じてほしいと思ったからでした。

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべてのことにおいて感謝しなさい。

これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。(テサロニケ人への手紙 第一 5章16～18節)